

第5代 四條畷市長

# 東 修平と後継者と語る 「なわての未来」

あなたの声を聴かせてください!



スマホの  
カメラでQRを  
読み取って  
ください



**対話を継承**

## 市内全域で開催予定

対話会スケジュールは上記QRコードからチェック!!

12/16月 19:00 <b>済</b> 江瀬美公民館 江瀬美 12-15	12/20金 13:30~ 雁屋公民館 雁屋南町 5-7
12/16月 20:00 <b>済</b> 美田町公民館 美田町 5-18	12/20金 15:00~ 府営清滝住宅 第一集会所 清滝新町 7-1
12/17火 19:00 <b>済</b> 砂公民館 砂 2-13-3	12/20金 19:00~ 畑中公民館 南野 3-7-4
12/17火 20:00 <b>済</b> 忍ヶ丘会館 岡山 2-7-1	12/20金 20:00~ 塚米公民館 米崎町 14-18
12/18水 19:00~ 市民総合センター 市民ホール <b>済</b> <b>大演説会</b> <b>注目</b>	
12/19木 11:00 <b>済</b> 楠公町公民館 楠公 1-6-21	12/21土 13:00~ 戎公園 えびすホール 田原台 4-1
12/19木 14:00 <b>済</b> 蔀屋公民館 蔀屋本町 10-6	12/21土 19:30~ 忍ヶ丘駅 西口 ロータリー 
12/19木 18:30 <b>済</b> 二丁通会館 北出町 21-7	
12/19木 20:00 <b>済</b> グリーンホール田原 3階 会議室3 大字上田原 1	事前予約等は不要です。 お気軽にお越しください。

# 12/22日

## 四條畷市長選 期日前投票は16日~21日

20日、21日はグリーンホール田原でも投票できます。



四條畷市長  
**東 修平**

私の**後継者**に**バトン**を  
託してください!



元バドミントン日本代表  
元四條畷市職員



本ビラは、公職選挙法上  
候補者の顔や名前を掲載できない  
確認団体によるポスターです。

責任  
世代  
**36**歳



スマホのカメラで  
読み取ってください



財政が健全化し、転入者が増加している今こそ、市民みんなでなわての

# 未来を描こう

えが

※このビラは、候補者名を表記してはいけないことになっている「政治活動用ビラ 第2号」です。  
四條畷市民の力 配布責任者：植田 力康 四條畷市岡山2-1-56ヴィラレスト203 / 印刷者：株式会社アドワークス つくば市梅園2-5-3 梅園スクエアC102

# えが みんなで描こう なわての未来

## 1 いくつになっても活動したくなる“なわて”

- 体操教室やレクリエーションなどを通じた健康寿命の延伸
- 生涯学習活動を促進する環境整備



### 健康寿命の延伸のアイデアは？

四條畷市では「健康寿命の延伸」を福祉政策の一つの大きな柱と位置付け、取組みを進めてきました。近年、老人クラブなどの団体の解散が進んでいるというお声を受け止め、行政として地域コミュニティの活動を支えていくことで、先輩世代の方々が身近に集える居場所づくりを充実させ、元気に長生きできる環境づくりを進めてまいります。

## 2 働く世代が元気あふれる“なわて”

- 既存事業者の働き手不足対策を推進
- 若者や女性の創業を支援



### 働き手不足対策の具体は？

四條畷市役所のふるさと納税担当として、市内の事業者の方々からヒアリングを重ねるなか、**事業を続けたいけど人手が足りない**という声をたくさん伺いました。一方で、市の統計データによると、20代前半の市民が市外に転出しているという現状があります。それらのギャップを埋めるため、**市内で働きたい若者が市内の企業に就職する流れを生み出す**べく、まずは事業者の皆さんとの対話を行ってまいります。

### 創業支援は何をするの？

四條畷市では、令和5年度から「なわて事業者チャレンジ支援制度」を導入し、**他市にないレベルで起業の支援**を進めています。一方で、テレワークなど働き方の変化が進むなか、様々なビジネスが生まれやすい環境となってきました。住宅都市である四條畷市がさらなる発展を遂げるために、**若者や女性といった将来のまちづくりを担う人材が市内で起業しやすい環境整備**を進めてまいります。

## 3 こどもが夢や目標を持てる“なわて”

- 部活動や習い事への支援制度を創設
- 個性を伸ばす教育環境づくり

### 支援制度って？

公立小中学校においては、教職員の先生方に様々な負担のしかかり、部活動などに十分な時間が割けない状況にあります。そのため、まずは教職員の先生方との対話を行い、**教育現場の働き方改革を進め、先生方がこどもたちに向き合える時間を創出**してまいります。併せて、四條畷市に生まれたこどもたちが、家庭の事情や経済的な状況によらず、部活動や習い事などに夢中になれる環境づくりにも注力してまいります。

### 「個性を伸ばす教育」って何？

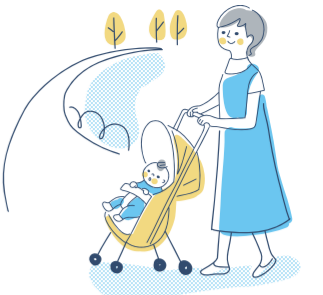
「こどもたち一人ひとりの個性を尊重し、可能性を育むまちづくり」を基本理念に掲げる四條畷市。この理念に、私は深く共感しています。本来、こどもたちは興味・関心の塊です。にもかかわらず、夢や希望を持たなくなるのは、周囲の声かけが原因だと私は考えます。だからこそ、**こども一人ひとりに向き合う大人達が、その子の個性を十分に理解し育む教育環境づくり**を進めてまいります。

挑戦を応援

安全と安心

## 1 人とまちと自然がつながる“なわて”

- 生活や通学で通る道路の安全を確保
- 忍ヶ丘駅・四條畷駅周辺や緑豊かな公園の整備



### 道路の安全の確保は？

四條畷市の最大の課題の一つは、道路の狭さです。併せて、かつての厳しい財政状況から道路の老朽化も進んできています。実際、**多くの市民から道路に関する不安の声**を伺います。財政状況が良くなってきた今だからこそ、現在進めている旧170号などの幹線道路の拡幅工事を進めるとともに、**生活道路や通学路の安全対策を集中的に進めて**まいります。

### 駅周辺整備のイメージは？

本市唯一の駅である JR 忍ヶ丘駅は、駅としての利用はあるものの、**環境を活かされていない現状**があります。そのため例えば、**西側ロータリーに芝生広場を整備**し、小さなこどもから先輩世代の方々までが集えるようにするなど、**玄関口としてふさわしい整備を進めて**まいります。また、四條畷駅周辺については、大東市が現在整備を進めていることから、**商店街の活性化に結びつく環境づくりに向け大東市との連携を強化**してまいります。

## 2 いのちと生活を守る“なわて”

- 避難所の機能強化と支え合い体制の構築
- 移動課題の解消と物価高騰への支援



### 移動課題解消の具体は？

全国で民間バス事業者の撤退が相次ぐなか、交通分野において市が果たす役割が大きくなってきています。四條畷市では「おでかけサポートタクシー」や「自動運転」などの市独自の取組みをこれまでも進めてきていますが、さらなる打ち手が必要です。**コミュニティバスのルートやダイヤの見直し**をはじめ、特に先輩世代の方々の外出のしづらさを解消すべく、**福祉の観点を取り入れた移動支援を地域の皆さんとともに構築**してまいります。

### 物価高騰対策は？

物価高騰が長引くなか、賃金の上昇が追いついていないことが国全体の課題となっています。今後、その対応として国からの臨時交付金が想定されていますが、そうした財源を活用のうえ、**「なわてみんなで頑張ろう商品券」の第5弾**を実施することで、物価高騰から皆さんの生活を守ってまいります。

## 3 子育て世帯が笑顔で過ごせる“なわて”

- 妊娠期からの切れめない支援と相談体制の拡充
- 保育所とふれあい教室の待機児童ゼロ



### 切れめない支援って何？

四條畷市では、妊娠期から切れめない支援を実施する「**ネウボラなわて**」を実施しています。子育て世代の方々の市外から転入が続くなか、周囲にサポートしてくれる方がいない家庭が増えてきていることから、そうした子育て世帯を支えるべく、**「こども家庭センター」を設置し、相談や支援体制のさらなる拡充**を進めてまいります。

### 待機児童対策は？

保育所やふれあい教室の待機児童は、受け入れる施設の人員数や教室数などが密接に関係しています。**保育士の大幅な処遇改善**をはじめ、例えば**保育士資格を持ってはいるものの保育士として働いていない方々の発掘**、臨時施設の確保なども視野に入れ、現場の方々との丁寧な対話を行いながら、待機児童を解消してまいります。

## 公共施設の再編



「主要な施設である市役所や総合センターの立地は変えることなく、南中学校跡地に避難所を兼ねた複合施設を整備する」現在の計画を進めていきます。

この計画は、市内全ての非耐震施設の早期解消と、持続可能な財政運営を実現できる計画となっており、多世代の交流はもとより、これまで本市になかったボール遊びができるような大きな広場を備えた公園なども整備するなど、安全性の確保と財政負担の抑制を念頭に、魅力あるまちづくりに資する案となっています。

何より、市民ワークショップ、市民と市長の意見交換会、市民や団体代表・学識などで構成する公共施設再編検討会、議会での特別委員会などの議論を経てできた計画であり、これ以上いたずらに議論を長引かせることは、建設資材や人件費の高騰にも繋がりかねず、そうなれば市民の皆さまの税負担が大きくなってしまいます。そのため、この12月に改訂される計画に基づき、**早期に整備を実行**してまいります。

## 田原の活性化



東市長が進めてきた田原活性化の取組みを、さらに加速させてまいります。

交通課題においては、東西の移動に関してはコミュニティバスの更なる改善を進めるとともに、田原地域内における移動手段の課題解消に関しては、地域のボランティアチームの皆さまと、自動運転車「たわらコネクトカート」の更なる利便性向上に取り組んでまいります。

田原地域の魅力である田園風景。この風景を守るため、圃場整備を着実に推進するとともに、魅力ある農業・農空間をはぐくみ次世代に継承する取組みに支援を行ってまいります。

また、生まれ育った地元、田原台は、「まちびらき」から30年以上にわたり有効活用されていなかった土地の利活用を積極的に進めたいと考えています。現在進めている住民参画のワークショップをもとに、**地域資源を活かした魅力ある田原地域のまちづくりを進めて**まいります。